

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 平原 真幸

- 1 日時 令和4年 10月26日(水) 5校時 6年生教室
- 2 学年 第6学年 8名
- 3 単元名 伝えよう！大崎上島の伝統文化
- 4 単元について

(1) 単元観

大崎上島は豊かな環境に恵まれた瀬戸内海の離島である。ここでは、この環境を生かして造船業・農業・水産業など多くの方が産業を営まれてきた。また、昔から引き継がれてきた文化が数多くある。

児童はこれまでの5年間「大崎上島学」(生活科・総合的な学習の時間)を通して、ふるさと大崎上島の産業や自然、地域について学習し、様々な体験を行ってきた。学習を通して児童はふるさとのよさに気づき、先人のつくり上げてきたものを大切にしたいという考えをもつことができるようになってきている。

6年生になってからの学習では、約250年前から伝わってきた権伝馬競曹について、島内在住の方のお話を中心に調べ学習を進めてきた。残念ながら毎年行われてきた権伝馬競曹体験は出来なかったが、格納してある権伝馬を見たり、乗ったりしながら本物の権伝馬にも触れてきた。権伝馬を作る人、こぐ人などの後継者問題にも触れながら、今も引き継いでいこうとする人々の思いを感じることができた。

本単元では、一度は途絶えてしまいがちながらも、東野小学校の先輩たちが受け継いできた島頭海鳴り太鼓に焦点を当て学習をしていく。島頭海鳴り太鼓の創始者の方のお話を聞き、その人たちと自分たちのつながりを考える活動を通して学ぶことで、多面的に大崎上島の魅力に気づくことができ、地域に方々とのつながりを深めると共に、自分達も地域の一員として主体的に関わろうとする児童の育成につながるものと考え本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、大崎上島について調べ学習を進めることにとても意欲的である。1学期は大崎上島の昔話を調べ、その中で自分が興味をもった話の内容や自分が感じたことをスライドにまとめ発表をしていった。また、権伝馬の歴史や役割、人々の思いを聞き取ったことを大型新聞にまとめていった。しかし、表面的に目立つ内容をまとめる傾向が強い。地域の人々の思いに馳せる感想を載せる児童は少数であった。

そこで、本単元の活動を通して地域の人々の気持ちや思いをしっかりと考えながら情報を整理していく力をつけていきたい。

(3) 指導観

指導に当たっては、1学期に行った権伝馬以外に東野地区で受け継がれてきた伝統や文化はないかを問う。その中で、毎年学習発表会に行われてきた太鼓の発表に焦点を当てる。昨年(5年生時)は、「いつも行われてきたから。」「6年生に教えてもらったことをする。」など、決められた中で行ってきた島頭海鳴り太鼓に対して「いつ始まったのか」「誰が始め

たのか」「どんな思いで行ってきたのか」「なぜ、今は行われていないのか」などの疑問をもたせ、大崎上島の魅力や思いにも焦点を当てて調べ学習を進めていきたい。また、活動の中で自分達を感じている大崎上島の魅力との比較を行わせることで、多面的に考えを深めさせていきたい。地域の方々との関わりを通し、相手の思いに触れることで、よりふるさとの愛着をもったり、1から自分達で学習していく達成感を味わわせたりしていきたい。

本時においては、聞き取り学習から得た情報を整理・分類・分析する学習を中心に行っていく。そして、整理した情報とこれまで自分達が習得している情報を比較させる。この活動を通して、東野地区の伝統文化の魅力や人々の思いについての考えを深めさせていきたい。

5 単元の目標

- 大崎上島の伝統文化に興味・関心をもち、これまでの学習を振り返ることができる。
- 適切な方法で情報を収集・整理し、内容を効果的にまとめることができる。
- 大崎上島の伝統文化を調べる活動を通して、ふるさと大崎上島に対する誇りと愛着をもち、自分にできることを考え実践しようとする態度を育てる。

6 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

(○は本単元において育成しようとする資質・能力)

創造力		<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働しながら、よりよい知恵を出したり、修正・補足したりしながら物事を創造することができる。
豊かな思考力・判断力・表現力	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、協働的に問題を発見し、解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けることができる。 ・言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む）、問題発見・解決能力を身に付けることができる。 ・既存の知識や技能を活用して、問題解決を図っていく力を身に付けることができる。 ・自分の思いや考えを、相手意識や目的意識をもって、効果的な表現方法を用いて、分かりやすく表現することができる。
主体性	○	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも主体的に取り組み、意欲をもって行動することができる。
回復力・耐える力		<ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況でも粘り強く取り組み、最後まで諦めずやりきることができる。
多様性・協働性・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・他者の価値観や多様性を尊重する態度を身に付け、協働して活動することができる。 ・他者と協働するためのリーダーシップやチームワークを身に付けることができる。

郷土を担う使命感	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島に魅力を感じ、ふるさとに誇りと愛着をもつことができる。 ・これからの大崎上島や将来の自分のためにできることは何かを考え、行動することができる。
----------	---	---

7 単元の評価規準（ルーブリック）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	知識・技能	<p>豊かな思考力・判断力・表現力</p> <p>【自分の課題を見つけ、計画を立てて課題解決をする。】</p>	<p>主体性</p> <p>【課題解決に向けて自分から進んで取り組む。】</p>	<p>郷土を担う使命感</p> <p>【大崎上島のよさを見つけ、自分にできることを考える。】</p>
A	地域の伝統文化のよさを見出し、地域の伝統文化が地域の方々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	課題を発見・分析し、適切な計画を立て、それを実行する中で考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付けている。	課題解決に向けての見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返りながら、次時の活動に生かそうとしている。	地域の伝統文化と自分との関わりに関心をもち、今後の学習の在り方や自分の生き方を考えようとしている。
B	地域の伝統文化が地域の方々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	課題の解決に向けての計画を立てることができ、その計画を実施することができる。	課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返ることができる。	地域の伝統文化と自分との関わりについて関心をもつことができる。
C	地域の伝統文化が地域の方々の努力や工夫によって支えられていることを理解していない。	課題の解決に向けての計画を立てることができない。または、計画を実施することができない。	課題解決に向けての見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返ることができない。	地域の伝統文化と自分との関わりに関心をもつことができない。

8 本単元のパフォーマンス課題及び指導計画

(1) パフォーマンス課題

東野地区の伝統文化をまとめ、学習発表会で発信しよう。

(2) 指導計画 (全 17 時間)

時		学習内容	評価
第1次 課題の設定 整理・分析 情報の収集	1/17	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島の魅力について，自分達の考えを振り返る。 ・パフォーマンス課題の設定をする。 ・情報収集の手立てを考える。 	知主
	2・3/17	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓の演奏を想起し練習をする。(島頭海鳴り太鼓・潮騒ばやし) 	思主
第2次 課題の再設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現	4/17	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題の確認をする。 ・課題を設定する。 	知主
	5・6/17	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために，海鳴り太鼓創始者の方にお話を聞く。(情報の収集) 	知思主
	7/17 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った内容を整理・分析をする。 	思主
第3次 情報の収集・ 整理・表現 実行	8/17	<ul style="list-style-type: none"> ・発信の仕方を考える。 	知主
	9～12/ 17	<ul style="list-style-type: none"> ・発信のための練習をする。 	思主
	13/17	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会で発表する。 	主
第4次 まとめ・ふり 返り	14/17	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の活動を振り返り，楽しかったことや嬉しかったこと，気がついたことなどをまとめる。内容の修正を行う。 	思主
	15・16/17	<ul style="list-style-type: none"> ・K授業で発表する。 	主
	17/17	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集の活動を振り返り，楽しかったことや嬉しかったこと，気がついたことなどをまとめる。 	思主

9 本時の授業について

(1) 本時の目標

○集めた情報を整理・分類・分析することで、島頭海鳴り太鼓の魅力と人々の思いについて考えを深めることができる。

(2) 本時の展開 (7/17)

	学習活動	指導上の留意点(○)	評価規準【評価方法】
情報 収集	○島頭海鳴り太鼓について聞き取ったことを交流する。 ・1965年から始まった。 ・子供たちの思い出づくり。 ・トラックに載せていろいろなところで演奏した。 ・初め太鼓は2台だった。 ・海の様子をふりやリズムにした。	○学習の始めにパフォーマンス課題の確認を行う。 ○聞き取りをしたことや調べてきたことを挙げさせる。その時の感想なども挙げさせる。	
課題 設定	1 本時の学習課題を設定する。 本時の課題		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 集めた情報を整理・分類・分析し、当時の人々の思いを考えよう。 </div>			
整理 分析	2集めた情報を整理・分類する。 ○聞き取ったことを内容ごとに分ける。 ●はじまり (きっかけ) ・1965年に始まる。 ・地域の人7人が考える。 ・子供たちの思い出づくり。 ●発展 ・地域の盛り上がり。 ・祭りを盛り上げる。 ・演奏の広がり。 ・県外・海外での公演。 ・2曲目に挑戦。 ●工夫 ・島頭の地域に広がる海の様子を表現する。	○Jamboard を使って聞き取った内容をグルーピングしていく。 ○人々の思いについても考えさせていく。	

	<p>3 集めた情報を分析する。</p> <p>○その時々の人々の思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを大切に思う気持ち。 ・地域を発展させたい。 ・地域をにぎやかにしたい。 ・活性化させたい。 ・島頭を広く知ってほしい。 ・島頭地域の前に広がる海が好き。 ・故郷を大切に思う。 ・自慢に思う。 ・これからも続いて欲しい。 ・地域の人々の心が一つになるうれしさ。 ・喜びを感じる。 ・大変だけどやり切りたい思い。 	<p>○当時の大人の人(太鼓を始めようとした7人、地域の人、子供たち)の立場に立ってその時の気持ちを想像させる。</p> <p>○太鼓の演奏をしながら、どんなことを考えていたか、どんな気持ちだったかを想像させる。</p> <p>○マイナスの面も取り上げる。</p>	
表現	<p>4 権伝馬についての学習を想起し、類似点をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故郷を大切に思う気持ち。 ・やってきたことを知り、つなげていきたい。 ・みんなで一つになることを喜ぶ。 ・やり切った達成感。 ・みんなを大切にしている心。 ・ふるさとを誇りに思う気持ち。 	<p>○1学期に学習した権伝馬についての内容を重ねさせる。</p> <p>○人々の思いに焦点を当てる。</p>	<p>○聞き取ったり調べたりした内容と人々の思いをつなげながら考えを深めることができる。</p> <p style="text-align: right;">【発言】</p>
まとめ 振り返り	<p>5 振り返り、次時への学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日学習して分かったことをまとめて学習発表会でみんなに伝えたい。 ・自分達を知るだけでなく他者に発信したい。 	<p>○学習したことを発信するにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>○パフォーマンス課題の評価項目を自分たちでチェックできるようにする。</p>	

1 1 板書計画

